

5年国語科学習指導案

門真市立北巣本小学校
指導者 鳴尾 沙代子

①実施日時 令和6年 11月20日(水)

②学年・組 5年1組 24名

③単元名 伝記を読んで感想文を書こう 「手塚治虫」

④単元の目標

- ・伝記に描かれている人物の人物像を捉え、生き方についての考えをまとめていることができる。

⑤評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・読書が自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。(知(3)才)	<ul style="list-style-type: none">・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(思C(1)才)・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(思C(1)力)	<ul style="list-style-type: none">・進んで伝記を読んで生き方について考え、学習の見通しを持ってまとめたり表現したりしようとしている。

⑥児童観

- ・学習に意欲的な児童は多いように感じる。学習の仕方も自分で選択することが多く、一人で学習する児童、グループで活動する児童などいろいろな学習の様子が見られる。
- ・情報を収集する力は少しずつ身に付いてきている。また、空き時間にタイピング練習やキュビナなどICTを活用する姿が見られる。
- ・集めた情報を整理・分析する能力はまだ未熟である。書かれている内容をそのまま写してしまうことが多いが、思考ツールを用いて整理・分析する姿も見られるようになった。
- ・社会科や理科の学習は、自分で計画をたてて学習する流れができている。しかし、パフォーマンス課題の達成にむけて何が必要なのかを考えることが難しい児童もいる。また、国語科で行うことはまだ慣れていない。
- ・情報を集める→整理・分析→まとめ・表現の流れはできているが、まとめ・表現する方法の選択肢が少ない。

⑦教材観

- ・実在した人物の生き方が描かれている伝記を読み、自分の考えをまとめることが本単元の中心である。また、人物の生き方から、自分の生き方について考えを広げることも大切になってくる。
- ・手塚治虫の経験や考え方を自分と比べることで、ものの見方や考え方の質を高め、幅を広げるのに適した教材である。
- ・読んだ本について自分の考えを持ち、まとめ・表現することは、自分の考えを明確にし、人に伝える力を鍛えることにつながる。

⑧指導観

- ・全8時のうち1～4時間は一斉授業を行う。教材「手塚治虫」で人物の考え方や生き方をどのように読み取るかの一斉で行い、その学習を生かして、それぞれが選んだ伝記に描かれている人物について読み取る学習につなげていきたい。教材「手塚治虫」での読み取り方を参考に自分で学習課題を設定できるようにしたい。
- ・情報収集の方法を伝記とインターネットに限り、単元の目標を達成するためにどのような情報が必要なのか考えさせるようにする。
- ・子どもたちが教科書や伝記、インターネット等で集めた情報を「比較する」「関連付ける」など、整理分析できるように、思考ツールを活用する。思考ツールは子どもたちにデータで配布する。教室後方にも思考ツール一覧を掲示し、集めてきた情報を整理分析するときにいつでも思考ツールを活用できるようにしておく。
- ・子どもたちが自ら「本時の課題」を設定し、学習活動に取り組めるように指導する。スプレッドシートやドキュメント、スライドなどを共有し、学びが孤立せずに協働的に学べるようにICTを活用する。
- ・協働的に学べるように、クラスの子がどこを学習しているのか視覚的に確認できるようにスプレッドシートで記すようにする。同じ課題をもつ子ども同士が一緒に学べる機会にしたい。また、先に進んでいる子に相談するなどにも活用できるようにする。

⑨研究との関連について

本校では、研究仮説として、「協働学習の場をICTで作り出すことで、学び合いが生まれ、主体的・探究的な学びを実現できるはずである」という考えを立て、教師主導から子どもに委ねる授業づくりを意識している。そのため、単元指導計画の中でICTを効果的に活用する(目的を明確にして活用する)場面を設定している。

今回は単元の計画を子どもに委ね、自分で計画をたてて目標に向かうようにする。伝記を読み、学んだことを整理・分析し、まとめる場面でICTを活用する。さらに、誰がどこの課題を行っているのかを視覚的にわかるようにし、児童が同じ課題を行うもの同士がともに学び合えるようにする。ここでは具体的には、手塚治虫の人物像や生き方について考え、自分の生き方につなげて考えていく。また、「課題設定」の場面で単元全体を通して学習の見通しをもつだけでなく、達成目標を考えることにより子どもが探究的に学習できるようにしたい。そのことによって、目標と指導と評価の一体化の実現を図っている。

⑩単元指導計画(全八時間)

次	時	子どもの学習活動	指導上の留意点	主な評価規準	研究との 関わり
第一次	第一時	・単元目標の設定 ・目標達成に向かうための学習計画をたてる。	・単元の見通しをもたせるために、単元でつける力を明確にする。 ・学習の意欲を高め、主体的な学びとなるように、学習計画を立て、達成目標を考えられるようにする。 ・「伝記」とは何かを伝え、これから読む物のイメージを持たせる。	【態】 単元のめあてを理解し、学習計画を立て、学習の見通しをもっている。 〔記述・発言〕	【課題設定】 単元全体の見通しをもつとともに、達成目標を考えることで、探究的に学べるように留意する。
	第二・三・四時	・手塚治虫について読み、生き方や考え方を読み取る ・手塚治虫について集めた情報を整理し、自分の考えをまとめる。 ・手塚治虫の人物像をとらえる。	・全文を読み、手塚治虫の生き方を知るうえで重要なと思う記述に線を引かせる ・出来事や行動に着目して線を引くように伝える ・考えをまとめるために思考ツールの活用を伝える（今回は表を使用） ・人物やその生き方について自分はどうのように感じ取ったのかを考えさせる。 ・読み取った手塚治虫の人物像で、手塚治虫を表現する。	【知】 出来事から生き方や考え方を読み取っている。 〔記述・発言〕 【思・表・判】 文章を読んで、理解したことを整理している。 〔記述〕	【情報収集】 教科書 ICT 【整理・分析】 思考ツール

	第五 ・ 六 ・ 七 ・ 八時 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・「伝記」に書かれている人物を選択する。 ・人物について読み取るための学習計画をたてる。 ・「伝記」に書かれている人物について読み取り、まとめる ・これから自分の生き方について考え、まとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ・「伝記」に書かれている人物を紹介し、子どもの選択肢を広げる。 ・手塚治虫の生き方を読み取る学習で行った計画を参考にすることを伝える。 ・人物の生き方や考え方を中心読み取り、自分の考え方と比較させる ・今まで読んできた人物の生き方や考え方をふりかえり、からの自分について考え方させる 	<p>【態】 目標を達成するための学習計画をたてようとしている。[記述・発言]</p> <p>【知】 出来事から生き方や考え方を読み取っている。[記述]</p> <p>【思・表・判】 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを書いている。[記述]</p>	<p>【まとめ・表現】 ICTの活用 スライド 画用紙</p>
--	--	--	--	---	--

⑪本時

(1)本時の目標

- ・「手塚治虫」の伝記の学習で学んだことをいかして、自分で「めあて」を設定しながら、探究的に学ぶ。
- ・偉人の生き方や考え方について学び、自己の考え方を広げる。

(2)本時の評価規準

- ・進んで伝記を読んで生き方について考え、学習の見通しを持ってまとめたり表現したりしようとしている。

(3)本時の判断基準

おおむね満足できる状況(B)	努力を要する状況(C)への支援
「伝記」に描かれている人物について読み取り、まとめ・表現している。	「手塚治虫」について学習した内容や「伝記」「インターネットの情報」など、情報収集の方法を示す。

(4)本時の展開

学習活動	指導上の留意点	評価規準	研究との関わり
<ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマンス課題の確認 ・「学習のめあて」の設定 前時の活動をふりかえり、本時のめあてをスプレッドシートに入力する ・活動に取り組む 自分が設定した活動に取り組む 活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ・「伝記」を読む ・人物の考え方や生き方につながる出来事を読み取る ・人物の考え方や生き方を捉える ・人物の考え方・生き方について自分の考えを書く ・ふりかえり 今日の学習の学びについてのふりかえりをスプレッドシートに記入する 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で「学習のめあて」を設定できるように、これまでの学習を振り返るように指導する。 ・スプレッドシートを活用することで、友だちの意見を参考にさせる。 ・活動に入る前に、自分が学べる環境にすることを伝える。 ・自分がこの1時間でどのようなことを学んだのか、次時を見通した自分の課題などを書くように指導する。 (気づいたこと、わかったことなど) 	集めた材料を比較したり分類したりして、調べたことを報告するうえで必要な事柄を選んでいる。 〔観察・発言〕 本時で学習したことふり返り、今後の学習にいかす意欲をもっている。 〔記述〕	個別最適な学びのうち、「学習の個性化」の機会を確保する。 個別最適な学び→協働的な学びの一体的な充実を図ることで、全員参加および探究的な学びを実現する。 フォーム →スプレッドシート